

全大教新聞

2023年5月10日

第407号

【発行所】

全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



【PDF版 (全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル 2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います (一部30円)

今月の紙面

- ① 1面つづき「新入教職員をむかえ、各組合で加入呼びかけを実施」組合の大切さを伝える」公立大学協議会 総会・交流会 (3月27日) 論壇「子どもの幸せを実現する学力と学校」愛知教育大学 教育学部准教授 竹川 慎哉
- ② 「働く環境のあれこれ・机の明るさは？」
- ③ 4 単組からのレポート
・埼玉大学「毎年執行委員会のメンバーが変わるフレッシュな組合です」
・国立天文台
「在外勤務者の組合活動」
・奈良工業高等専門学校
「これからの取り組み」

新規採用教職員、看護師等医療職員

新入教職員

をむかえ、

各組合で加入
呼びかけ

実 施!

教育・研究・医療の
充実のために!



全大教中央執行委員長
鳥畑 与一
(静岡大学経済学部 教授)

HPや携帯
からもご加入
できます



全大教病院協議会幹事
早瀬 樹希
(名古屋大学附属病院 看護師)



今年も
全国で仲間を増やし
パワーアップ
していきたい

全大教女性部長
三宅 良美



みんなで力を
合わせれば
解決できることが
あります

全大教高専協議会議長
岡本 勝規

(富山高専国際ビジネス学科 教授)



岩手大学教職員組合 採用時説明会

本年も、「採用時説明会」のうちの20分をいただき、組合からは5人が出席し、28人の方々に大学事務局会議室にて組合紹介と加入案内を行いました。挨拶の後、書記長が組合と文科省及び国立大学法人との関係や組合の使命、これまでの活動実績等をスライドで紹介しながら、教職員共済、全大教新聞、ろうきん等のパンフレットを用いて説明を行

いました。最後に3年前の就職直後に組合に加入したAさんの「教職員は非常勤職員に支えられて研究が行えるのに、その方々の不安定さは職に就く前から知っており、必ず組合に入ろうと思った」という加入動機を伝えていただきました。この思いで私たちは支え合いながら良い職場を作っていきたいと思っています。

(梶原昌五)



名古屋大学職員組合 新入看護師向けの組合説明会

マスクの着用が「個人の判断が基本」となったとはいえ、コロナ禍は未だに収束せず、新規教職員の大学主催の全学説明会はオンライン、事務・技術系は従来(2週間程度で合宿あり)の日程を短縮し開催しています。医学部支部では医療技術部と看護部の新規採用オリエンテーションが開催され、それぞれ組合の説明資料を会場で配布しました。

新規採用教職員、事務・技術系職員には学内便で組合の説明資料を配布する予定にしています。周りの組合員からもそれらの新規採用教職員に声をかけてもらうようにしたいと思っています。職種や職場毎に名古屋大学に組合があることや、組合のとりくみ内容を一人一人にお知らせし、誘っていきたくと思っています。

(佐々木康俊)



福島大学教職員組合 新採用者説明会

例年大学が行う「新採用者説明会」の際に時間をいただいで組合活動の説明と勧誘を行なっています。説明会は「契約職員」、「パートタイム職員」そして「正規職員」に分かれて3回行われますので、組合説明もそれぞれの対象者に向けた説明ができました。特に前者2つの非正規の方は、期限付き雇用であったり手当などの面で不十分な待遇

がある一方、組合に加入する方はまだまだ少ないと感じています。昨今、大学業務における非正規職員への依存度は増していきつつあります。働きやすい環境づくりのために一丸となって活動しましょうと訴えました。その訴えが届いたのかわかりませんが、説明会当日とその後の加入があり良い感じのスタートになりました。

(安田俊広)



有明工業高専教職員組合 教職員への組合説明会

本校の教職員組合では、4月3日に、新しく着任された教職員と前年の途中着任教職員に対して、組合の説明や加入の案内を行いました。新型コロナウイルス前は昼食時間を使って説明をしていましたが、現在は参加者に弁当を配布して説明と食事を分けて実施しています。他機関からの着任者は組合の存在を知っていますが、新卒者は組

合の意味さえ分からないので、「労働者が働きやすくするための集まりなんですよ!」という説明をしています。また、本校の特徴である教員と職員の間が近くて深いのも組合活動のような話をする機会の成果なんです。今年も新しい仲間が増えました。みんなが働きやすい環境を一緒に作りましょう!

(篠崎烈)